

設置計画の概要

フ リ 置 者	ガッコウホジシ ヲイウキシヨク 学校法人 慶應義塾
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称	ケイウキシヨクダイガクイン 慶應義塾大学大学院（研究科専攻等の課程）
新設学部等における教育研究上の 目的、養成する人材像	<p>理工学研究科 (修士課程) ア 多様性を重視しつつ、科学技術の専門性を活かして未知の領域に果敢に挑戦し、社会を先導できる人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 学生一人ひとりの固有の才能を引き出し、人間社会へ貢献する強い意志を持って主体的に問題を見出し、課題を要素化して学術と先端技術を駆使して取り組む能力を育てる教育を実施すると同時に、基礎から応用までのあらゆる科学技術分野において世界最先端で独創的な研究成果を生み出すことを教育研究上の目的とする。より具体的には、理工学の広範な領域に関する専門科目に加えて、外国語科目と総合教育科目および国際・多様・包摂的な視野を育成する科目を充実させ、理学および工学のいずれにも重要な科目を履修させると同時に、理学においては自然科学における知識と理論またその現象を深く理解しその諸法則を応用展開できる能力を、また工学においては「ものづくり」「コトづくり」を意識しつつも創造的・新規的な研究開発を自立的に推進できる能力を、それぞれ習得させることを目的とする。</p> <p>(後期博士課程) ア 修士課程において培った能力に加えて、理工学の広範な専門分野における明確な研究成果を示すと共にその基礎となる豊かな学識を有し、かつ将来的に研究者として自立して高度な研究活動を行うと同時に自身の知見を活かす場を自ら見出すことができる人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 修士課程において培った能力に加えて、理工学の広範な専門分野において高度な研究を自立的に推進できる能力と、多様な価値観を認め未知の領域を探索する姿勢と、自身の知見を活かす場を自ら見出す能力を、それぞれ習得させることを目的とする。</p> <p>先端数物科学専攻 (修士課程) ア 数理学と物理学に立脚した最先端の教育研究を通して、理工学のみならず社会全体を見渡すことのできる広い視野のもとで、今ある最先端ではなく次の最先端を拓くための基礎を学び、世界中の誰も真似することのできないほどの突き詰めた科学の真理に基づく専門性を身に着けた人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 各自が有する数理学や物理学に関する高い基礎学力を基に、今ある最先端ではなく次の最先端を拓くことを追求する研究活動を通じて、緻密な論理に基づいて物事の本質に迫る能力に加えて、社会の多様性に目を向けながら研究の方法論や成果の発信法を学ぶことにより、自らの創造力を社会に対して最大限に発揮できる能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 情報通信業や金融業・保険業および製造業の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、専門性を活かしたコンサルティング業務や官民の研究機関の研究員、さらには官公庁の総合職等、幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>(後期博士課程) ア 修士課程において培った能力に加えて、数理学と物理学に立脚した最先端の研究活動に真摯に取り組み、専門分野における明確な成果を挙げ、世界中の誰も真似することのできないほどの突き詰めた科学の真理に基づく高度な専門性を身に着けた人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 各自が有する数理学や物理学に関する高い基礎学力および研究能力を基に、今ある最先端ではなく次の最先端を拓くことを追求する真摯な研究活動を通じて、緻密な論理に基づいて物事の本質に迫る高度な能力に加えて、社会の多様性に目を向けながら研究の方法論や成果の発信法を学ぶことにより、自らの創造力を社会に対して最大限に発揮できる場を自ら見出す能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 国公立の大学教員および官民の研究機関の上席研究員相当職に加え、情報通信業や金融業・保険業および製造業における研究開発を牽引する役割や専門性を活かしたコンサルティング業務等、自身の知見を活かす場を自ら見出して幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>化学・生命情報科学専攻 (修士課程) ア 化学、生命科学、それらと関連した情報科学分野における最先端の教育研究を通して、基盤となる科学的な専門知識を深化させると共に既存分野が融合した新しい学問領域を創出する能力を身につけ、さらに優れたコミュニケーション能力によって社会および世界を先導して研究成果を普及させることができる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する基礎学力を、化学、生命科学、それらと関連した情報科学分野における最先端の研究活動の中で実効的に活かし、新たな理論の構築から社会の発展に貢献できる科学技術への展開に貢献すると共に、自身の学びの成果を科学的根拠に基づいた言葉で専門分野内外を問わず正しく伝えることができる説明能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 化学系や製薬系等の製造業の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、専門性を活かしたコンサルティング業務や官民の研究機関の研究員、さらには官公庁の総合職等、幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>(後期博士課程) ア 修士課程において培った能力に加えて、化学、生命科学、それらと関連した情報科学分野における最先端の真摯な研究活動を通して、基盤となる科学的な専門知識を深化させると共に既存分野が融合した新しい学問領域を創出する高度な能力を身につけ、さらに優れたコミュニケーション能力によって社会および世界を先導して研究成果を普及させることができる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する基礎学力および研究能力を、化学、生命科学、それらと関連した情報科学分野における最先端の研究活動の中で実効的に活かし、専門分野における明確な成果を示すことで、新たな理論の構築から社会の発展に貢献できる科学技術への展開に貢献すると共に、自身の学びの成果を科学的根拠に基づいた言葉で専門分野内外を問わず正しく伝えることで自身の知見を活かす場を自ら見出す能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 国公立の大学教員および官民の研究機関の上席研究員相当職に加え、化学系や製薬系等の製造業における研究開発を牽引する役割や専門性を活かしたコンサルティング業務等、自身の知見を活かす場を自ら見出して幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>総合デザイン工学専攻 (修士課程) ア 現実の現象を解析しモデル化できる科学的な能力を有することを前提として、基礎工学、および基盤工学とリベラルアーツを融合した学際工学に立脚した最先端の研究を通して、広く社会の発展に貢献できる人工物および工学システムを設計あるいは統合して、具体的な課題解決に結びつけることのできる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力を基盤として、先端的・萌芽的・創造的な活動を重視した教育研究を実践する中で要素技術をより広い工学的営為全般の中で改めて位置付け直し、具体的な課題解決に結びつけることができる能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 製造業や情報通信業および建設業等の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、専門性を活かしたコンサルティング業務や官公庁の総合職、さらには「ものづくり」や「コトづくり」に対する強みを活かしたベンチャー企業への参加から自ら起業する場合まで、幅広い進路を選択することと思われる。</p>

設置計画の概要

フ リ ガ ナ 者	ガッコウホジシ ケイオウキョウ 学校法人 慶應義塾
フ リ ガ ナ 称	ケイオウキョウダイガクダイガクイン 慶應義塾大学大学院（研究科専攻等の課程）
新設学部等における教育研究上の 目的、養成する人材像	<p>(後期博士課程)</p> <p>ア 修士課程において培った能力に加えて、現実の現象を解析しモデル化できる科学的能力を有することを前提として、基盤工学、および基盤工学とリベラルアーツを融合した学際工学に立脚した最先端の研究に真摯に従事することを通して、自ら具体的な課題を見出すと共に、広く社会の発展に確かな貢献ができる人・物および工学システムを高度に設計あるいは統合して、具体的な課題解決に結びつけることのできる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力および研究能力を基盤として、先端的・萌芽的・創造的な活動を重視した教育研究を実践する中で要素技術をより広い工学的営為全般の中で改めて位置付け直し、専門分野における明確な成果を示し、具体的な課題解決に結びつけることのできる能力に加えて、自身の知見を活かす場を自ら見出す能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 国公立の大学教員および官民の研究機関の首席研究員相当職に加え、製造業や情報通信業および建設業等の研究開発を牽引する役割や専門性を活かしたコンサルティング業務等が主に予想されるが、「ものづくり」や「コトづくり」に対する強みを活かしたベンチャー企業への参加から自ら起業する場合を含めて、自身の知見を活かす場を自ら見出して幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>人間・社会システム情報科学専攻 (修士課程)</p> <p>ア 人間や社会を取り巻く広範な科学技術について、自然・人間・文化・社会に関する諸活動と有機的に結び付け本質的理解を究め、末路の自然理解や人間理解、文化理解、社会理解、技術理解に果敢に挑戦し、人間社会の未来を創造し発展させる能力を有した真の国際人の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力を基盤として、他分野と交わりながら周辺領域に及ぶ学識と広い視野を体系的に身につけ、国際人としての素養を有し、高い倫理観と責任感をもって、末路の課題を論理的判断に基づき解決する能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 情報通信業や金融業・保険業および製造業の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、国内外また組織の大小を問わず幅広く社会のあらゆる分野で社会を先導し変革する役割を担う進路を選択する場面が多くなることと思われる。</p> <p>(後期博士課程)</p> <p>ア 修士課程において培った能力に加えて、人間や社会を取り巻く広範な科学技術について、自然・人間・文化・社会に関する諸活動と有機的に結び付け本質的理解を究め、末路の自然理解や人間理解、文化理解、社会理解、技術理解に果敢に挑戦し、人間社会の未来を創造し発展させる多様な能力を有した真の国際人の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力および研究能力を基盤として、他分野と交わりながら周辺領域に及ぶ学識と広い視野を体系的に身につけ、専門分野における明確な成果を示し、かつ国際人としての素養を有し、高い倫理観と責任感をもって、末路の課題を論理的判断に基づき解決する能力に加えて、自身の知見を活かす場を自ら見出す能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 国公立の大学教員および官民の研究機関の首席研究員相当職に加え、情報通信業や金融業・保険業および製造業の研究開発を牽引する役割や専門性を活かしたコンサルティング業務等が主に予想されるが、国内外また組織の大小を問わず幅広く社会のあらゆる分野で社会を先導し変革する役割を主体的に担う進路を選択する場面が多くなることと思われる。</p>
既設学部等における教育研究上の 目的、養成する人材像	<p>基礎理工学専攻</p> <p>ア 数理学・物理学・化学・生命科学等に立脚した最先端の教育研究を通して、理工学のみならず社会全体を見渡すことのできる広い視野のもとで、今ある最先端ではなく次の最先端を拓くための基礎を学び、未来における科学と工学の新機軸を創出する挑戦の過程の中で、科学の真理に基づく専門性を身に著けた人材を養成することを目的とする。</p> <p>イ 各自が有する数理学・物理学・化学・生命科学等に関する高い基礎学力を基に、今ある最先端ではなく次の最先端を拓くことを追求する研究活動を通じて、緻密な論理に基づいて物事の本質に迫る能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 情報通信業や金融業・保険業および製造業の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、専門性を活かしたコンサルティング業務や官民の研究機関の研究員、さらには官公庁の総合職等、幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>総合デザイン工学専攻</p> <p>ア 現実の現象を解析しモデル化できる科学的能力を有することを前提として、基盤工学、および基盤工学とリベラルアーツを融合した学際工学に立脚した最先端の研究を通して、広く社会の発展に貢献できる人・物および工学システムを設計あるいは統合して、具体的な課題解決に結びつけることのできる人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力を基盤として、先端的・萌芽的・創造的な活動を重視した教育研究を実践する中で要素技術をより広い工学的営為全般の中で改めて位置付け直し、さらには「デザイン」が工学の本質かつ原点であるとの認識から、具体的な「ものづくり」に取り組む姿勢を重視し、人・物および要素技術を最適に組み合わせた工学システムを追究することで、具体的な課題解決に結びつけることのできる能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 製造業や情報通信業および建設業等の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職等が主に予想されるが、専門性を活かしたコンサルティング業務や官公庁の総合職、さらには「ものづくり」に対する強みを活かしたベンチャー企業への参加から自ら起業する場合まで、幅広い進路を選択することと思われる。</p> <p>開放環境科学専攻</p> <p>ア 周囲の環境と不断に情報や物質の交換が行われている開放系の科学を樹立するために、空間・都市・資源・エネルギー・環境、情報ネットワーク、社会組織等、幅広い分野にわたって現実世界の具体的な問題について考究する能力をもって、新しい科学とも言うべき開放系の科学を樹立し、科学技術に飛躍的なブレイクスルーを起こそうと志す人材の養成を目指す。</p> <p>イ 各自が有する学術分野における基礎学力を基盤として、他分野と交わりながら周辺領域に及ぶ学識と広い視野を体系的に身につけ、異質かつ複雑な構成要素から成り立つ高次の開放系の視野に立って問題を解決する能力を習得させることを教育研究上の目的とする。</p> <p>ウ 製造業の研究開発職や生産品質管理職および技術営業職、情報通信業や金融業・保険業等が主に予想されるが、国内外また組織の大小を問わず幅広く社会のあらゆる分野で社会を先導し変革する役割を担う進路を選択する場面が多くなることと思われる。</p>

設置計画の概要

フリガナ		ガッコウホジシキ ケイオウギシユク 学校法人 慶應義塾							
大学の名称		ケイオウギシユクダイクウダイガクイン 慶應義塾大学大学院 (研究科専攻等の課程)							
	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	
						学位又は称号	学位又は学科の分野		
新設 学部の 概要	理工学研究科 [Graduate School of Science and Technology]	先端数物科学専攻 (M) [School of Mathematical and Physical Sciences]	2	100	-	200	修士(工学) /修士(理学)	工学関係 /理学関係	令和8年 4月
		化学・生命情報科学専攻 (M) [School of Chemistry, Life Science, and Informatics]	2	130	-	260	修士(工学) /修士(理学)	工学関係 /理学関係	令和8年 4月
		総合デザイン工学専攻 (M) [School of Engineering and Design]	2	220	-	440	修士(工学) /修士(理学)	工学関係 /理学関係	令和8年 4月
		人間・社会システム情報科学専攻(M) [School of Informatics, Management, and Human Sciences]	2	150	-	300	修士(工学)	工学関係	令和8年 4月
		先端数物科学専攻 (D) [School of Mathematical and Physical Sciences]	3	30	-	90	博士(工学) /博士(理学)	工学関係 /理学関係	令和8年 4月
		化学・生命情報科学専攻(D) [School of Chemistry, Life Science, and Informatics]	3	30	-	90	博士(工学) /博士(理学)	工学関係 /理学関係	令和8年 4月
		総合デザイン工学専攻(D) [School of Engineering and Design]	3	50	-	150	博士(工学) /博士(理学)	工学関係 /理学関係	令和8年 4月
		人間・社会システム情報科学専攻(D) [School of Informatics, Management, and Human Sciences]	3	40	-	120	博士(工学)	工学関係	令和8年 4月
既設 学部の 概要	理工学研究科 [Graduate School of Science and Technology]	基礎理工学専攻(M) (廃止)	2	200	-	400	修士(工学) /修士(理学)	工学関係 /理学関係	平成12年 4月
		総合デザイン工学専攻(M) (廃止)	2	200	-	400	修士(工学) /修士(理学)	工学関係 /理学関係	平成12年 4月
		開放環境科学専攻(M) (廃止)	2	200	-	400	修士(工学)	工学関係	平成12年 4月
		基礎理工学専攻(D) (廃止)	3	50	-	150	博士(工学) /博士(理学)	工学関係 /理学関係	平成12年 4月
		総合デザイン工学専攻(D) (廃止)	3	50	-	150	博士(工学) /博士(理学)	工学関係 /理学関係	平成12年 4月
		開放環境科学専攻(D) (廃止)	3	50	-	150	博士(工学)	工学関係	平成12年 4月

【備考欄】
既設専攻後期博士課程、新設専攻後期博士課程ともに、理学、工学いずれの範疇にも属さない学位については、各専攻とも「博士(学術)」を授与できる。
この改組に伴う、研究科全体の入学定員・収容定員に変更はない。